

平成31年度 当初予算案の概要



綾 部 市

予算編成のポイント

■未曾有の大災害からの復旧・復興を最優先とした緊縮予算

⇒一般会計予算規模は前年度対比 ▲1.1% 163億1,934万6千円 (③0165億155万6千円)
(財政調整基金取崩額は前年度対比 ▲22.3% 6億6,541万1千円 ③08億5,690万8千円)

行財政健全化の取組により、入るを量りて出ずるを制し
オール綾部で 住み続けられるまちづくりを推進

行財政健全化の取組により一般財源を確保 5億1,227万4千円…①+②

■平成30年度事業の見直し(事業・人事院勧告先送り等30項目)により財源を確保

3億6,511万6千円(一財1億9,068万3千円…①)

■平成31年度行財政健全化による財源確保

3億5,294万5千円(一財3億2,159万1千円…②)

➤【入るを量る】 法人関連を中心とした市税等の増収 45億3,548万7千円 増収4,922万5千円
使用料、手数料を20年ぶりに改定 増収1,567万9千円

➤【出ずるを制す】 事務事業の見直し(39項目) 3億683万5千円(一財2億6,210万5千円)
働き方改革による人件費の縮減 4,611万円(一財4,380万7千円)

■「医・職・住・教育・情報発信」をキーワードに『住み続けられるまちづくり』を推進

➤ 防災をはじめとする安全・安心のまちづくりなど、「やらなければならない事業」を厳選

予算案の規模

■一般会計の予算規模 16,319,346千円(前年度対比▲1.1%)

■全会計の予算規模 37,495,682千円(前年度対比+2.0%)

※下水道事業公営企業化の影響(減価償却費等966,633千円増)を除くと前年度対比▲0.7%

区 分	平成31年度 A (千円)	平成30年度 B (千円)	差引 A-B (千円)	伸 率 (%)	
一 般 会 計	16,319,346	16,501,556	▲182,210	▲1.1	
特 別 会 計	市立診療所等	37,706	37,833	▲127	▲0.3
	農林業者労働災害	2,812	2,829	▲17	▲0.6
	国民健康保険	3,628,573	3,731,038	▲102,465	▲2.7
	介護保険	4,810,298	4,630,890	179,408	3.9
	後期高齢者	571,392	546,699	24,693	4.5
	駐 車 場	20,814	23,656	▲2,842	▲12.0
	簡 易 水 道	339,726	401,912	▲62,186	▲15.5
	下 水 道 事 業	下水道事業会計として公営企業化	1,955,812	▲1,955,812	皆減
	地 域 排 水 事 業		734,860	▲734,860	皆減
	住 宅 工 業 団 地	70,950	76,002	▲5,052	▲6.6
計	9,482,271	12,141,531	▲2,659,260	▲21.9	
公 営 企 業	上 水 道 事 業	1,131,671	1,223,808	▲92,137	▲7.5
	下 水 道 事 業	3,485,400	—	3,485,400	皆増
	病 院 事 業	7,076,994	6,902,872	174,122	2.5
	計	11,694,065	8,126,680	3,567,385	43.9
合 計	37,495,682	36,769,767	725,915	2.0	

一般会計の主な歳入

(単位:千円)

■市税	4,535,487	(30)	4,486,262	+1.1%
個人市民税	1,307,871	(30)	1,320,725	▲1.0%
法人市民税	378,526	(30)	381,294	▲0.7%
固定資産税	2,420,701	(30)	2,381,492	+1.6%
軽自動車税	126,301	(30)	118,033	+7.0%
市たばこ税	224,457	(30)	207,840	+8.0%
都市計画税	76,286	(30)	75,285	+1.3%

■森林環境譲与税 17,000(皆増)

温室効果ガス削減や災害防止等を図るため創設。間伐や担い手確保等の森林整備財源

■地方消費税交付金

596,000(30) 602,000 ▲1.0%

■環境性能割交付金 28,000(皆増)

自動車取得税が廃止され新設。消費増税から1年間は1%減税

■地方特例交付金 34,000(30)19,000 +78.9%

子ども・子育て支援臨時交付金 15,000(幼児教育無償化)が追加

■地方交付税	4,360,000	(30)	4,360,000	0.0%
普通交付税	3,860,000	(30)	3,860,000	0.0%
特別交付税	500,000	(30)	500,000	0.0%

■国庫支出金 2,068,264(30) 1,774,083 16.6%

プレミアム商品券発行事業費 51,038(皆増)
 リサイクル施設整備事業費 60,759(30) 5,601 +984.8%
 宮代豊里線整備事業費 108,350(30) 10,016+981.8%

■繰入金 1,078,080(30) 1,254,995 ▲14.1%

財政調整基金 665,411(30) 856,908 ▲22.3%
 地域振興基金 61,964(30) 118,775 ▲47.8%

■市債 1,088,400(30) 1,433,300 ▲24.1%

臨時財政対策債 429,400(30) 527,200 ▲18.6%
 社会体育施設整備事業費(市民センター)
 326,500(30) 672,100 ▲51.4%
 リサイクル施設整備事業費
 109,400(30) 8,100 +1,250.6%

【参考】	■財政調整基金残高	(30)3月補正後	943,792 千円	(29)決算	1,635,125 千円
	■市債残高	(30)3月補正後	15,223,407 千円	(29)決算	13,873,492 千円

医

誰もが安心して住み続けられる優しいまちづくり

新規 地域共生社会実現サポート事業費

430千円

社会福祉法人が実施する共生社会の実現を目指した地域貢献活動等の取組を支援します。

【内容】 施設利用者と地域住民との交流会の開催や、災害時における要配慮者のための簡易ベッド、備蓄米等の整備に対する補助

安全
安心

新規 プレミアム商品券発行事業費

51,038千円

低所得者・子育て世帯を対象に、消費税率引き上げの影響を緩和するためプレミアム付き商品券を発行します。

【内容】 利用可能額5千円分の商品券を4千円で販売(最大2万5千円分まで)

対象:低所得者(住民税非課税である者5,800人)及び子育て世帯(2016年4月2日以降に生まれた子700人)

新規 手話コミ条例推進事業費(UDトーク導入)

587千円

平成30年度に府内で初めて制定した『手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例』を積極的に推進します。

【内容】 難聴者とのコミュニケーション手法として、新たに会話を文字化するアプリ「UDトーク」を活用したタブレット端末を窓口に整備

導入台数3台 府北部で初

新規 幼児教育無償化の実施(影響額)

20,416千円

幼児教育を無償化し子育て世帯を応援するとともに、幼児教育を推進します。(2019年10月1日～)

【内容】 対象:幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する全ての3歳から5歳児、0歳から2歳児までの住民税非課税世帯 合計663人

拡充 放課後学級運営事業費(志賀・上林小学校区7,994千円)

85,758千円

昼間に保護者等がいない児童の放課後対策として、放課後学級を設置し安全安心な子育てを支援します。

【内容】 新たに志賀小学校区と上林小学校区に各1学級を増設し、合計16学級を運営

安全
安心

職

産業を守り産業を起こし、働く場と働く人を確保

新規 森林経営管理推進事業費

17,000千円

森林環境譲与税を財源に間伐等森林整備、林業の担い手確保等に取り組みます。

【内容】人工林所有者の意向調査、集積計画策定、境界確認調査、間伐等

拡充 農地中間管理機構関連農地整備事業費

20,331千円

農地中間管理機構が借り入れる農地の区画整理を行い、担い手農家へ集積を図るため下位田(豊里地区)に加え、今年度から長野(奥上林地区)でも取り組みます。

【内容】下位田(豊里地区)に加え、今年度から2地区目として長野(奥上林地区)で実施 長野事業費18,389千円 実施面積7ha

拡充 林道維持管理費

17,039千円

林道の適正な維持管理により林業を振興します。また本年度から林道橋の点検診断を実施し安全の確保と長寿命化計画を策定します。

【内容】48橋の点検診断を実施 事業費13,002千円

安全
安心

拡充 シルバー人材センター事業費

18,100千円

シルバー人材センターの運営を支援し高齢者がいつまでもいきいきと働き活躍することができる場を確保します。

【内容】運営経費に加え、綾部市シルバー人材センターの事務所整備に対する補助金(9,700千円)を交付

拡充 あやべ温泉施設改修事業費

10,997千円

東部地域の拠点施設であるあやべ温泉の施設改修を進め、観光産業を振興します。

【内容】取水井揚水等ポンプ類、浄化槽、風呂ろ過装置等の改修

住

災害に強く環境に優しい安全安心で元気なまちづくり

拡充 急傾斜地崩壊対策事業費

7,900千円

自然災害から生命と財産を守るため井根(口上林地区)に加え、本年度から小西(豊里地区)でも急傾斜地の崩壊対策事業を実施します。

【内容】 井根(口上林地区)法面工事負担金7,400千円 小西(豊里地区)調査経費負担金500千円

安全
安心

拡充 味方平線整備事業費

84,000千円

自然災害の防止と利便性の向上を図るため紫水ヶ丘と国道27号をつなぐ市道味方平線の道路拡幅(歩道)及び落石対策(擁壁等)を実施します。

【内容】 法面擁壁工事 平成32年度完成予定

安全
安心

拡充 宮代豊里線整備事業費

197,000千円

市街地の南北をつなぐ主要道路である宮代豊里線を整備し安全性と利便性の向上を図るため道路拡幅を実施します。

【内容】 用地取得、建物補償、踏切拡幅設計 平成33年度完成予定

安全
安心

新規 原子力災害時避難円滑化モデル実証事業費

13,000千円

原子力災害時の避難経路の確保と避難帯域時検査会場への進入路を整備し広域的な災害対策を実施します。

【内容】 舞鶴若狭自動車道からあやべ球場への進入路及び避難路を整備

安全
安心

新規 救助資機材整備事業費

4,165千円

平成30年7月豪雨等による災害を教訓に、倒壊建物内での救助活動を迅速かつ安全に行うためレスキューサポートシステム(救助用支柱機器)を整備します。

【内容】 救助用支柱機器一式

安全
安心

新規 防災基盤整備事業費

6,618千円

安全安心のまちづくりのための基盤強化を図るため、防火水槽を整備します。

【内容】 防火水槽1基 和木(山家地区)

安全
安心

<p>拡充</p>	<p>非常備消防費(消防団出動手当)</p>	<p>5,506千円</p>	<p>安全 安心</p>
<p>自然災害や火災発生時等の消防団員の出勤に対して支給する出動手当を改正し処遇改善を図ります。 【内容】 消防団員出動手当 出勤1人1回2,500円を、8時間以上出勤の場合5,000円以内に改正</p>			
<p>継続</p>	<p>リサイクル施設整備事業費</p>	<p>183,038千円</p>	<p>本年度 完成予定</p>
<p>環境に優しいまちづくりを進めるため、ペットボトルや空き缶等のリサイクル施設を整備し、本年度の完成を目指します。 【内容】 鉄骨造平屋建 705.66㎡</p>			
<p>新規</p>	<p>里山交流研修センター施設整備事業費</p>	<p>14,716千円</p>	<p>安全 安心</p>
<p>都市との交流活動をさらに推進するとともに、災害避難所としての機能充実を図るため、里山交流研修センター幸喜山荘に空調設備等を整備します。 【内容】 空調設備6基 屋根及び室内改修</p>			
<p>新規</p>	<p>あやベグンゼスクエア関連施設整備補助事業費</p>	<p>4,726千円</p>	
<p>「海の京都」拠点施設であるあやベグンゼスクエア内のバラ園について、2020年の開園10周年に向けて市民団体が行うリニューアル整備事業に対し補助を行います。 【内容】 綾部バラ会が実施する、バラのアーチ、ガーデンタイル、花壇整備等に対する補助</p>			
<p>新規</p>	<p>第6次綾部市総合計画及び第2次綾部市総合戦略策定費</p>	<p>7,000千円</p>	
<p>本市の将来都市像の実現を目指す総合計画(2021年度～2030年度)を策定するための調査及び地方創生を推進するための総合戦略(2020年度～2024年度)を策定します。 【内容】 アンケート等による分析・調査 綾部市創生有識者会議の開催</p>			
<p>新規</p>	<p>移住立国プロジェクト事業費</p>	<p>800千円</p>	
<p>さらなる移住、定住促進のため、市内外への積極的なPR活動を展開します。 【内容】 「移住立国」をキーワードにホームページやSNS、のぼりやポスターによるPR活動、有識者等による定住促進のための施策を模索</p>			
<p>新規</p>	<p>オールあやべでがんばろう事業補助金</p>	<p>1,500千円</p>	
<p>市制施行70周年を前に度重なる災害からの早期復興を目指し、新たな発想で取り組まれる元気が出る市民活動に対し支援を行います。 【内容】 補助対象:市民団体等 補助率:10/10(上限100千円)</p>			

教育
情報発信

次世代を担う子どもたちを育み豊かな社会をつくる 情報発信に努め綾部ファンを増やす

継続 社会体育施設整備事業費(市民センター整備事業)

491,479千円

スポーツをはじめとする市民活動の拠点施設として、市民センター及び武道館を一体化した新たな市民センターを整備し、本年度の完成を目指します。
【内容】 本体工事、外構工事、備品整備、武道館解体
鉄筋コンクリート造3階建 延べ4,660㎡

本年度
完成予定

新規 小学校大規模改修事業費

17,442千円

中筋小学校の屋内運動場屋根を改修し、教育環境と避難所としての機能改善を図ります。
【内容】 中筋小学校屋内運動場 屋根改修

安全
安心

新規 中央公民館大規模改修事業費

26,244千円

中央公民館の屋根を改修し施設の機能回復と延命化を図ります。
【内容】 中央公民館 屋根改修

新規 都市公園整備事業費(山家城址公園整備事業)

10,068千円

2020年 NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を前に、明智光秀ゆかりの地である山家城址公園のトイレ整備を行います。
【内容】 山家城址公園トイレ整備 木造平屋建 13.04㎡ 男・女・多目的トイレ各1基

特別会計の主な内容

■特別会計の予算規模 9,482,271千円(前年度対比▲21.9%)

市立診療所等特別会計	37,706千円(前年度対比▲0.3%)
上林歯科診療所、志賀郷・中上林・奥上林診療所運営費等	
農林業者労働災害共済特別会計	2,812千円(前年度対比▲0.6%)
農林業者の災害共済制度運営費	
国民健康保険特別会計	3,628,573千円(前年度対比▲2.7%)
保険給付費、国民健康保険事業費納付金、保健事業費等	
介護保険特別会計	4,810,298千円(前年度対比 +3.9%)
保険給付費、地域支援事業費等	
後期高齢者医療特別会計	571,392千円(前年度対比 +4.5%)
後期高齢者医療広域連合納付金等	
駐車場特別会計	20,814千円(前年度対比▲12.0%)
天神町、駅南、駅北駐車場運営費等	
簡易水道特別会計	339,726千円(前年度対比▲15.5%)
山家西簡易水道統合整備事業費 18,567千円	本年度完成予定
2020年度に上水道事業会計に統合(公営企業化)予定	
住宅・工業団地事業特別会計	70,950千円(前年度対比▲6.6%)
桜が丘団地販売促進費等	

公営企業会計の主な内容

■公営企業会計の予算規模 11,694,065千円(前年度対比43.9%)

下水道事業会計を新設（下水道事業特別会計、地域排水事業特別会計を統合して公営企業化）

上水道事業会計		1,131,671 千円(前年度対比▲7.5%)	
配水施設改良費	95,718 千円	老朽管更新、国道・府道改修関連事業等	
水道事業ビジョン策定費	7,588 千円		
下水道事業会計【新設】		3,485,400 千円(皆増)	
由良川左岸整備事業費	207,865 千円	管きよ整備	
由良川右岸整備事業費	299,997 千円	管きよ整備、測量・設計・調査	
雨水対策事業費	72,000 千円	雨水ポンプ場建設	
特定地域生活排水処理事業費	53,704 千円	合併処理浄化槽 40 基	
病院事業会計		7,076,994 千円(前年度対比+2.5%)	
医療機器等整備事業費	185,000 千円	医療機器の更新、新規導入等	
施設整備等事業費	123,838 千円	電気設備、空調設備、治療室改修等	

安全
安心

災害からの復興と行財政健全化の取組

平成30年7月豪雨等歴史的災害に要した予算 23億4,254万円(12月補正後)

- 災害復旧事業費 20億4,194万2千円(一般財源3億9,307万6千円)…市道、河川、農地、農道、林道等
- 災害関連事業費 3億 59万8千円(一般財源1億6,958万円)…災害見舞金、土砂撤去、人件費等

財政調整基金残高 2億6,391万6千円に減少(12月補正後)

- 平成29年度末残高 16億3,512万5千円
- 平成30年度取崩予算 13億8,179万円

※利子積立 1,058万1千円あり

大雪等の災害に備えるとともに、平成31年度当初予算編成のために
平成30年度事業・人件費の見直しで 3億6,511万6千円(一財1億9,068万3千円)の歳出抑制

- 事業見直し(29事業) 3億5,491万1千円(一般財源1億8,047万8千円)の歳出減
 - 庁舎改修整備事業 1,043万4千円(一財) 高津駅前広場整備事業 250万円(一財) 道路整備事業 5,029万7千円(基金)
 - あやべ温泉施設改修事業 6,950万1千円(一財2,225万2千円) 小学校大規模改修事業 1,677万3千円(一財427万3千円)
 - 総合運動公園改修事業 1,029万7千円(市債等) 工場設置奨励金 6,408万4千円(一財)
 - クリーンセンター修繕 1,000万円(一財) 上水道事業会計補助金等 1,888万1千円(一財) など
- 職員給与等見直し(人事院勧告に準ずる給与改定を1月へ先送り) 1,020万5千円(一般財源1,020万5千円)の歳出減



財政調整基金残高 9億4,379万2千円に復帰 (3月補正後)

約6億8千万円の
一般財源を積み戻し

- 平成30年度事業、人件費見直し 1億9,068万3千円
- 市債の活用 1億9,610万円
- 市税の増収 1億1,000万円
- 平成30年度事業費確定見込みの減等 1億8,309万3千円



平成31年度当初予算における行財政健全化の取組 3億5,294万5千円
(一般財源 3億2,159万1千円)

■使用料、手数料の改定 1,567万9千円の歳入増

➤ 主な施設等の影響額

家庭用ごみ袋 718万円	あやべ温泉 354万6千円	斎場(火葬) 140万6千円	清山荘 77万5千円
天文館 69万4千円	I・Tビル 50万円	体育施設 39万9千円	斎場(葬祭) 30万4千円

■事業見直し(39項目) 3億683万5千円(一般財源 2億6,210万5千円)の歳出減

➤ 主な見直し事業

西庁舎西側駐車場用地購入 5,596万1千円(一財)	里山交流研修センター改修 4,489万5千円(一財 524万7千円)
あやべ温泉宿泊棟改修 4,243万円(一財)	道路整備 4,000万円(一財)
借上型市営住宅整備 1,648万4千円(一財 824万2千円)	市職員共済組合補助金 144万円(一財)
	公営企業補助金 3,070万5千円(一財)
	クールスポット廃止 135万2千円(一財)

■人件費の縮減 4,611万円(一般財源 4,381万円)の歳出減

➤ 働き方改革による時間外手当の縮減 2,613万円(一財) 嘱託職員の減員(13人) 1,990万円(一財 1,767万7千円)

使用料・手数料等の見直しについて

見直しの経過

平成 9年 4月	消費税率引上げ（3%→5%）
平成11年 4月	料金改定（増税分及び負担の基準化・標準化等）
平成26年 4月	消費税率引上げ（5%→8%） ・平成27年10月からの消費税10%への引上げに合わせて改定を検討 ・ただし、廃棄物処理手数料と、民間事業者と競合するあやべ温泉、あやべ山の家・里山交流研修センターの宿泊料等についてのみ消費税分を改定）
平成26年11月	平成27年10月からの10%への引き上げが、平成29年4月からへと延期が決定
平成28年 5月	平成29年4月からの10%への引き上げが、平成31年10月からへと再延期が決定
平成31年10月	消費税10%への引き上げと時期を合わせ使用料、手数料等を改定

<現状>

○平成11年4月から20年間料金据え置き

○平成26年4月から消費税8%後も増税分を転嫁せず



20年ぶりに使用料・手数料等を改定（平成31年10月から）

料金改定の背景

■老朽化する公共施設

- 本市公共施設の約6割が築30年以上経過 老朽化等により維持補修費が増大
(料金を据え置いている過去20年間の維持補修費は年平均約1億円 約16%増加)

■綾部市公共施設等総合管理計画(公共施設マネジメント)取組方針

- 平成28年に策定した綾部市公共施設等総合管理計画において、「使用料などの料金体系の見直し等を行い、受益者負担の適正化を図る」ことを明記

■20年以上単価を据え置き

- 平成11年度から20年間料金を据え置いており、さらに消費税が8%に引き上げられた平成26年以降も5年間、増税分を料金に転嫁せず据え置いてきた

使用料の改定

■ 基本的事項

- 消費税率5%のままの施設等 ⇒ 消費税5%分+100円未満端数切り上げ (※)
- 消費税率8%引上げ済みの施設等 ⇒ 消費税2%分のみ改定
(あやべ温泉宿泊料、あやべ山の家宿泊料、里山交流センター宿泊料)
- 条例により外税と明記のもの ⇒ 消費税2%分のみ改定(10円単位) (上水道・下水道使用料)
- 激変緩和措置として、単価改定率の上限を1.5倍とするもの(清山荘)

■ 100円未満端数切り上げの考え方(※)

- 平成11年から20年間単価据置、平成26年消費税8%引き上げ後も5年間、消費税5%のまま据置
- 老朽化する公共施設の適正な維持管理の推進
- サービス向上の推進
- 指定管理者等の使用料徴収事務の軽減

手数料の改定

■ 基本的事項

- 政令や府基準により定められているもの ⇒ 今回改定は行わず、政令や府基準が変更された場合に準拠して改定
- 上記以外で、条例により外税と明記のもの ⇒ 消費税2%分のみ改定

使用料、手数料の基本的事項の例外

- 料金単価を面積単位としている施設は、激変緩和措置により10円未満端数切り上げ
 - 【対象】綾部市かんばやし交流館、綾部市ふれあいの家、I・Tビル、綾部市地域情報センター、あやべハートセンター
- 役務の提供による料金については、他市との均衡を考慮した料金体系に改定
 - 【対象】家庭系一般廃棄物(家庭用ごみ袋)、斎場使用料(火葬)、市立病院初診時特定療養費

改定による影響額(平成31年10月から)

- 影響額 1,567万9千円(市歳入 1,030万9千円 指定管理者歳入 537万円)
 - 主な施設等の影響額(一般会計)
 - 家庭用ごみ袋 7,180千円 あやべ温泉 3,546千円 斎場(火葬) 1,406千円
 - 清山荘 775千円 天文館 694千円 I・Tビル 500千円
 - 体育施設 399千円 斎場(葬祭) 304千円 市立病院初診時特定療養費4,503千円
- (※公営企業会計)

主な施設等の料金改定額

●家庭用ごみ手数料（ごみ袋10枚）

区 分	現行料金	改定料金	増 額	近隣市平均（現行）
45ℓ	308円	400円	92円	416円
30ℓ	206円	270円	64円	292円
20ℓ	144円	190円	46円	166円
30ℓ(U型)	288円	350円	62円	—

●火葬場使用料（火葬1体）

区 分	現行料金	改定料金	増 額	近隣市平均（現行）
大人（市内）	10,000円	15,000円	5,000円	15,000円
大人（市外）	30,000円	45,000円	15,000円	48,000円

●綾部市総合運動公園体育館（全面全日）

区 分	現行料金	改定料金	増 額
競 技 場	11,000円	11,600円	600円

●綾部市天文館（個人1人）

区 分	現行料金	改定料金	増 額
一 般	200円	300円	100円
小中学生	100円	150円	50円

●あやべ温泉（一般1人）

区 分	現行料金	改定料金	増 額
入浴料	500円	600円	100円
宿泊料(休日前)	7,560円	7,700円	140円

●市立病院初診時特定療養費（初診時1回）

※子育て支援策として、中学生までは全額免除します。

※改定料金は施行日までに激変緩和措置を検討する予定です。

区 分	現行料金	改定料金	増 額	近隣市平均（現行）
初診時特定療養費	432円	2,200円	1,768円	2,465円

【新設】●市民センター（全面・全日）

参考：●現市民センター（全面・全日）

区 分	平 日	土・日曜、休日	区 分	全 日
競技場全面	16,200円	22,000円	(現)市民センター大競技場	11,000円
武道場全面	8,100円	11,000円	(現)武道館武道場	5,500円

【平成31年秋利用開始予定】